

☆第2土曜日 観察会

久しぶりに天候も恵まれ、花が一気に咲き出した森は、観察会にはもってこいでした。



河辺の森駅の竹による土止め

春といえば「花」。花が咲けば、実

がなるのですが、実がなるためには、花粉を飛ばし、受粉しなければいけません。花によって、花粉の飛ばしかたや、受粉の仕方がいろいろあります。まずは、「スズメノヤリ」という植物に注目してもらいました。この植物は一つの花で、まずは雌しべを出し、他の花の花粉を受粉する（メス）、その後雄しべを出し花粉を飛ばす（オス）、とまずはメス、次にオスと性転換をするのです。これは自家受粉をふせぐための一つの方法と言われています。この植物は、株になって生えていることが多く、その一つの株の中に、メスの時期、オス時期、実の時期、と各段階が見られます。花の姿から実ができるまで、ほぼ同じ姿をしているのですが、メス→オス→実をつける、という段階で少しずつ草丈も大きくなっていて、成長している様子がわかります。

このあとは、2011年から花が咲き出したコブシの観察。コブシという名の由来は、秋にできる実が握り拳をしているような形に似ているからだそうです。実は見たことないなあ…と思っていたら、コブシの木には去年になった実の殻がたくさん！そりゃ花が咲いているのだから、実がなるのです。今年は秋にもコブシに注目したいと思います。他には、まだつぼみでしたが、イチリンソウ、赤い小さなウグイスカグラ、ドングリの芽吹きなど、ゆっくりと春の森を観察することができました。

☆第2土曜日・作業内容

1. ササの手刈り

ドングリ広場で、メガネ男子達が、汗をかきながら、ササや、ゴンズイの木などをカマで刈ってくれました。

2. 竹きり&シェルター裏遊具の撤去

河辺の森駅で使う竹を、軽トラに入る長さに切ってもらう作業を行いました。こちらはあつという間にこの作業が終わり、次の遊具撤去を行ってもらいました。子どもたちに人気の木の遊具だったのですが、所々木が腐ってきており、このまま放置すると危険と判断したため、撤去しました。



モミジの新緑観察路

3. ササの機械刈り

くさはら広場と森との境目（林縁部）のササ刈り。「このあたりには、ドングリの実生や、小さな低木が生えているので、気をつけて刈ってください！」という、スタッフの声に「気を遣って、ストレスがたまったわあ」と言いながらも、しっかりと木を守りながら刈ってくださいました。

4. 食材採り&枯れ枝・細枝回収

こちらは、子どもでもできるメニュー、まずはヤブカンゾウをザルにいっぱい採りました。ヤブカンゾウは、お昼ご飯にヌタに変身して、みんなのおなかを満たしました。その後は、森をまわり細枝や枯れ枝を回収し、柴にしました。

5. 昼食づくり

毎年4月は、地元のお祭りで、エースが不在。そのため、毎年カレーです。今回は春キャベツや菜の花など春のモリモリカレーでした。他には、サラダ3種、ヤブカンゾウのヌタ、野菜スープと、美味しく身体に優しいメニューでした。大阪からの新人さんや、森や市役所の新人スタッフの自己紹介に、モリイコ！の紹介ムービーの上映などを行いお昼のミーティングも和やかな雰囲気が進みました。

5月10日（第2土曜日）、28日（第4水曜日）9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議は **5月28日（水）** **お昼頃** *時間変更しています

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索！

☆第4水曜日の作業

いつも水曜日には観察会には行っていないのですが、この日はとても気持ちの良い天気だったので作業の前にみんなで森をぐるっと歩きながら様々な春の植物を見て歩きました。イチリンソウや新緑のモミジ、マムシグサなど見て回りました。モミジの林は昨年新しく道を作った所です。秋はもちろんのこと、新緑も楽しめるステキな道になっています。

作業は水辺付近でのササ刈りです。普段あまり手を入れていない場所なので、かなり茂ってしまっている箇所です。そんな背の高いササがたくさん繁っている場所を、他の植物が育つように刈りました。結構広い範囲だったのですが、みんなでせっせと刈ったおかげでササの壁が取り除かれ見た目もガラッと変わりました。

お昼は山菜ずくし。メインの天ぷらはタラの芽やヨモギ、ウドにミツバなど春の森の恵みがたっぷり。筍ご飯や筍とフキの煮物、かき玉汁も筍入り。キャベツと豚肉の蒸し煮に新タマネギと冷しゃぶと、とっても盛りだくさんでお腹いっぱいいただきました。

☆4月の木ままクラブ

4/17日

15人が集まったこの日は、いつもの森から少しだけ離れて「河辺の森駅」での活動です。2004年に遊林会で作った駅前広場には階段状の花壇やビオトープがあります。この花壇の土止めに使っている竹がもろくなり、土が崩れ始める前に改修をしました。もろくなった竹を外して新しい竹を入れ、花壇の草抜き、アジサイの枯れ枝切りなど、暑い日だったので汗をかきかき作業しました。全部の箇所ではできませんでしたが、当面崩れるであろう箇所の部分はほぼ改修でき、駅前広場が格好良くなりました。

5月の活動は22日（木）です。

☆スタッフルーム情報

4月から森は新しいスタッフを一人迎えてのスタート、新人の升方（ますかた）君です。

「はじめまして。4月から森のスタッフとして加わりました升方です。元々森や山が好きで、地元大阪でも子どもたちと遊ぶ活動などをしていました。そんな自分にとって、この職場以上の所はないんじゃないか、と思いがんばろうと思っています。

森の仕事は始めたばかりですが、日々の事業

がたくさんあって、覚えることがたくさんありますが、スタッフの皆様に囲まれて沢山勉強させていただきます！どうぞよろしくお願いします」

☆モリイコ！今年は何？

心配していたモリイコ！事業ですが、東近江市として事業を継続する方向になり、無事今年も実施することが決まりました。

モリイコ！は、4歳から小学生の子どもたちが10人の5組、計50人が河辺いきものの森に集まり、年10回活動する事業です。子ども時代の多感な時期に四季を通じて活動することで、より豊かな自然を感じることに、そして、複数学年の中で、なおかつ自然の中での活動を通して、人の関係性を豊かにすることをねらいとしている事業です。

今年からは、東近江市の子どもたちのためということで、多くの方からいただいた「東近江

こども未来夢基金」の支援をうけての実施です。しかし、それでも継続のためには、参加費を値上げしないといけないこと（20,000円から25,000円へ、市外の方は30,000円）となり、応募人数が減ることも想定していました。

そしてフタを開けてみれば、募集人数50人に対し、168人もの応募がありました！それは遊林会が河辺いきものの森でやっている自然体験が評価されている、という嬉しい結果です。また、参加できなかった118人の子どもと保護者の期待に答えられない、という結果でもあります。その期待にちょっとでも、ということで、応募してくれた人しか参加できないイベントを企画しており、モリイコの10回は参加できないけど、2回はモリイコの体験ができるようにしています。

どちらにしても、お金を払っても子どもたちに自然体験をさせてあげたい、というお家が150家族（姉弟をのぞいた数）もある、ということです。そのことは常に考えておかないと、とスタッフは思っています。

☆5月の作業は…

春になってのびてきた細竹・ササ・セイタカ・クズなどをやっつける良い時期です。お昼は、春のお野菜料理と山菜料理かな？と料理班は考えています。